

日本鉄鋼協会記事

企画委員会

第4回委員会 開催日：9月19日。出席者：佐伯委員長，ほか17名。

1. 日本，オーストラリアシンポジウムについて
10月13，14日に標記シンポジウムを東京，経団連会館において開催する予定。オーストラリア側20名，日本側67名（9月19日現在）の参加者を予定しており，Key-note Address 2件他16件の論文が提出される。

2. 日本，中国鉄鋼学会第2回製鋼学会議について

11月14～16日に標記会議を東京，経団連会館において開催する予定。中国側約20名，日本側約80名の参加者を予定しており，27件の論文が提出される。

3. アロイスティールに関する国際会議協賛の件1985年9月北京で開催される標記会議に協賛することを決定した。

編集委員会

第4回編集運営委員会 開催日：9月2日。出席者：宮川委員長，ほか14名。

1. 昭和58年度ヘンダーソン賞の選考を行った。候補として推薦された論文12件を対象に検討し，1件を受賞論文として選出した。

2. 編集委員の委嘱・解嘱について報告がなされ承認された。

第6回和文会誌分科会 開催日：9月9日。出席者：宮川主査，ほか25名。

1. 23件の論文審査報告がなされ，掲載決定17件，照会后掲載可2件，修正依頼1件，その他3件であった。

2. 「鉄と鋼」第70年第1号（1月号）に論文9件，技術報告2件掲載決定した。

第6回欧文会誌分科会 開催日：9月2日。出席者：大森主査，ほか15名。

1. 21件の論文につき審査報告がなされ，掲載可4件照会后掲載可6件，修正依頼8件，返却3件であった。

共同研究会

第26回コークス部会 開催日：6月9～10日。開催地 川鉄・千葉。出席者：石川部会長，ほか152名。

1. 共通議題Ⅰ「石炭コークスの歩留管理の現状と今後の方向」

2. 共通議題Ⅱ「コークス炉低稼働率操業時の問題点と対策」

3. 自由議題 3件

.....

第71回特殊鋼部会 開催日：9月8～9日。開催地（株）不二越・日本高周波鋼業（株）。出席者：藤原部会長ほか105名。

1. 特別講演

製鉄機械における油圧技術の動向

2. 研究発表

(1) 製鋼技術（炉外精錬，特殊溶解，造塊，ccなど）の改善による高炭素鋼（工具鋼，軸受鋼，バネ鋼）の品質向上（7件）

(2) 炉外精錬の操業技術（能率，省エネ・省資源）の改善（7件）

(3) 自由テーマ（4件）

.....

鉄鋼分析部会

第71回鋼中非金属介在物分析分科会 開催日：9月2日。出席者：成田主査，ほか17名。

1. 鋼中酸化物の抽出分離定量法について

(1) 第1回共同実験試料についての自発検討結果の報告

(2) 第1回共同実験結果の報告と審議

(3) 今後の進め方

2. その他

.....

第48回品質管理部会 開催日：6月2～3日。開催地 吾嬬製鋼・千葉。出席者：竹内部会長，ほか82名。

1. 特別講演「鹿島建設（株）におけるTQCの推進」

2. 共通議題「重点管理品の品質保証体制について」

3. 報告「機械試験小委員会活動状況」

「非破壊検査小委員会活動状況」

第3回鉄鋼標準試料委員会

常任委員会 開催日：8月19日。出席者：川村委員長ほか15名

1. 標準値の決定

2. 素材調達を進捗確認

3. 製品の評価

4. 頒布価格の決定

5. 自由討議（規程集の問題点および中長期展望について）

6. その他

第50回材料研究委員会 開催日：9月14日。出席者 大橋延夫委員長，ほか10名。

現在，材料研究委員会では，「鋼材の破壊靱性に対する高純化の影響」について各社で研究を行っているが，今回は3つの研究報告が行われた。

(1) 高張力鋼の凝固偏析と靱性

(2) 鋼材の破壊靱性値におよぼす α/γ 変態回数および高純化の影響

(3) 9%Ni鋼の破壊靱性に及ぼすSおよびP量の影響

種々活発な討論が行なわれた。また今後の各社の研究ス

スケジュール等に合わせ、研究会としてのまとめの方向づけを次回あたりから行うこととした。

日本圧力容器研究会議

材 料 部 会

第 18 回水素脆化専門委員会 開催日：8月31日。出席者：乙黒委員長，ほか 16 名。

1. JPVRC 運営委員会報告
2. 水素脆化専門委員会 Final Report の WRC Bulletin への掲載について
3. 圧力容器用鋼材の水素脆化に関する予備調査について

鉄鋼技術情報センター

第 35 回センター編集委員会 開催日：9月14日。出席者：染野委員長，ほか 17 名。

1. 第7回センター共同研究会の開催要領を決定し

た。10月20日(木)，新日鉄新山谷寮において

2. 各種委員会報告
センター編集委，情報検索委，図書資料委の上半期事業の報告を受けた。特に，センター編集委の「鉄鋼技術総覧」誌の改定問題について意見が交換された。
3. センターの業務状況と，上半期収支実績について報告を受けた。公衆回線用端末機の普及により，会員の割引率を 50% から 10% に改訂した。非会員については従来通り。

第 20 回図書資料委員会 開催日：9月16日。出席者：小森委員長，ほか 15 名。

1. 鉄共研資料のマイクロ化，及び利用システムについて
2. 学振資料の利用管理システムについて
3. 各社における BISIT Translation の広報について
4. その他

原稿募集案内

「鉄と鋼」特集号原稿募集

テーマ：鉄鋼製造のための新しい計測技術

原稿締切日 昭和 58 年 11 月 10 日 (木)

鉄鋼の製造プロセスは，多くのプロセス・パラメータによりその状況が支配されている。1. 圧力・荷重，2. 変位・変形，3. 形状，4. 速度・加速度，5. 流量，6. 温度，7. 疵，8. 表面性状，9. 材質・組織，等の計測の対象とすべき要目や現象は多い。現在，プロセス自動化の充実は目ざましく，制御の面でも新技術の開発が盛に行われているが，なお，計測技術の進歩・発展にまたなければ十分な制御技術の進展は望めない。そこで今回は，計測技術を中心に特集号を企画した。

下記により原稿募集いたしますのでご投稿下さい。

記

1. 原稿締切日 昭和 58 年 11 月 10 日 (木)
2. 発行 鉄と鋼第 70 年第 9 号 (昭和 59 年 7 月号)
3. 原稿枚数 1) 論文は刷り上り 8 ページ以内 (表，図，写真を含めて本会所定の原稿用紙 40 枚以内)
2) 技術報告は刷り上り 7 ページ以内 (〃 35 枚以内)
3) 寄書は刷り上り 3 ページ以内 (〃 15 枚以内)

(注) ・原稿は本会投稿規程に基づいて執筆して下さい。
・投稿された論文は編集委員会において審査されます。

4. 問い合わせ・原稿送付先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 F

(社)日本鉄鋼協会編集課 電話 03-279-6021 (代)

(注) 投稿時，原稿表紙に「計測特集号」と朱書して下さい。